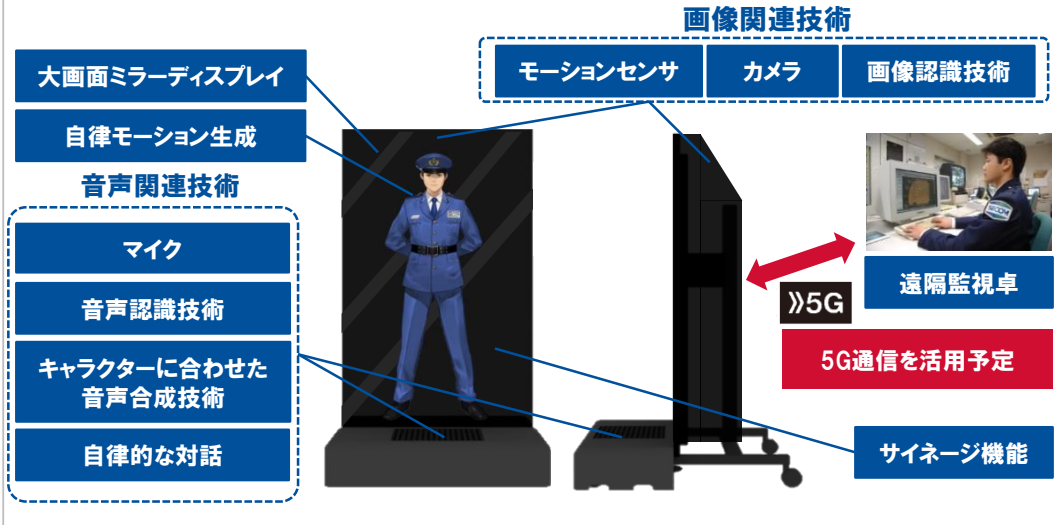


世界初、AIを活用して等身大バーチャルキャラクターが警備・受付業務を提供する バーチャル警備システム



「バーチャル警備員」が熟練した常駐警備員と連携し、警備強化や警備業務の効率化を実現します。



提供価値

高速大容量 低遅延 多数端末接続

商用化目前

- ミラーディスプレイを活用し、まるで人間が警備をしているかのように存在感を発揮します。目線を動かしながら周囲を監視し、周囲の人にその姿を見せることで、犯行抑止・牽制効果を発揮します。
- マイクや音声認識機能・顔認証機能により、受付や案内も担います。
- 緊急事態には監視卓の警備員がすぐに駆けつけ、対応にあたります。

概要

- バーチャル警備システムは、AIを活用して等身大バーチャルキャラクターが熟練した人間の警備と連携しながら警備・受付業務を提供する世界初*のセキュリティシステムです。 ※2019年4月現在(セコム調べ)
- 日本社会は人手不足に直面しており、中でも警備業の有効求人倍率は約9倍*に達しています。一方、社会のセキュリティニーズは高まりを見せており、限られた人員を効率的に活用する警備サービスが求められています。 ※厚生労働省「一般職業紹介状況(平成31年1月分)」
- 5Gによる低遅延・高速大容量通信を活用し、来訪者とのリアルタイムでより自然なコミュニケーションを実現します。2020年の5Gの実用化に合わせてサービス開始を予定しています。

コラボレーションパートナー

このシステムは、コラボレーションパートナーであるセコム株式会社が推進するオープンイノベーションの一環として、AGC株式会社・株式会社ディー・エヌ・エーとの協業で、開発したものです。

